

第33回高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

令和3年9月3日(金) 9:30~10:10

場所：高知会館 4階 やまもも

出席者

評価委員：森下勝彦(委員長) 宮田速雄 菱沼典子 寺田覚 井瀬潔
高知県：西本私学・大学支援課長 大窪課長補佐 石原主幹

森下委員長

前回の評価委員会における審議に基づき、事務局より評価書案を各委員の皆様にお送りしたところ、ご意見の提出があった。まずは、令和2年度の業務実績評価書について、事務局より説明をお願いします。

事務局

・・・説明・・・

委員長

ただいまの説明に対して、各委員から意見があればお願いします。

A委員

コロナの影響は評価に入れない、としたのか。

事務局

県大と工科大で評価の基準が異なっているよう。県立大はコロナで中止となった事業があった場合、代替事業の実績を重視しているが、工科大は出来なかった事業がある場合は低評価になっている。当評価委員会としては、評価方法は一つである必要があるため、県立大の考え方に合わせて、工科大学の評価を上げていくのがよいと考えている。事務局案としては、「コロナ禍の影響や実施した代替措置等を考慮し、年度計画に囚われず柔軟に、評価する」とするのがよいと考えている。

A委員

県大と工科大で、評価方法に差異があってはいけない。

委員長

評価方法は事務局の説明にあった方法でよいか。⇒(他委員了承)
それでは、評価方法については事務局案のとおりとする。

委員長

資料1-3の表は、評価する側としては分かりやすくありがたい。来年度以降も添付してもらえないか。

事務局

承知した。

委員長

それでは次に第2期中期目標期間終了時に見込まれる実績に関する評価書について、事務局より説明をお願いします。

事務局

・・・説明・・・

委員長

それでは、ただいまの説明について、ご意見やご質問などあればお願いします。

B委員	数理・データサイエンス・AI教育のカリキュラム化については、国の重要な政策であり、それに対して、しっかりと対応している、中期計画以上に行っている旨を業務実績報告書に記載して欲しかった。
事務局	大学に伝える。
委員長	県立大は大阪大の連携校になったとのことだが、工科大とは連携しないのか。
事務局	詳細は不明だが、県立大へは、愛媛大を通じて大阪大の話があったようだ。工科大と県立大は単位互換を今でも行っているが、この数理・データサイエンス・AI教育についても行えるようになるのではと思う。
委員長	他に意見がなければ、令和2年度業務実績報告書及び第2期中期目標期間終了時に見込まれる実績に関する評価書については、案のとおりでよいか。⇒（他委員了承） それでは、進行を事務局にお返しする。
事務局	高知県公立大学法人の2種類の業務実績評価書については、この内容で法人に通知するとともに、知事に報告することとする。知事は、これを県議会に報告する。 なお、来年度の評価委員会は第3期中期目標についてご審議いただく必要があるので、会議は3回かそれ以上開催する必要があるので、よろしく願いしたい。 本日の会は、これを持って終了する。（了）